

## 小中一貫教育推進事業」における栃木県の取組



### 1. 「小中一貫教育推進事業」の趣旨

小中一貫教育については、これまで、義務教育9年間を見通した計画的・継続的な指導を通じた学力・学習意欲の向上や、いわゆる「中1ギャップ」への対応等の観点から、全国の約1割の小・中学校で実施され顕著な成果を上げてきました。こうした状況を踏まえ、国は関連の制度を整備し、平成28年4月1日から義務教育学校や小中一貫型小学校・中学校の設置等が可能となる「学校教育法等の一部を改正する法律」及び関係政省令・告示が施行されました。

一方、小中一貫教育の効果的な取組を安定的・継続的に実施していく上では課題も存在しており、小中一貫教育の導入を設置者が希望する場合に、その取組を域内全域に段階的に広げていく方法や小中一貫教育の実質を確保した効果的な取組に関する知見の普及が求められています。

これらを踏まえ、市町教育委員会が域内全域での小中一貫教育の導入に向けた先導的な取組を実施する先行事例や、域内全体の公教育の質の向上につなげる先行事例を創出するものです。

### 2. 事業実施の背景・経緯

平成26年度実施の「小中一貫教育等の実態調査」によると、本県において小中一貫教育を実施している市町は3市1町でした。その取組の状況は、平成24年度から域内全体で取組を推進している市町、モデル地域を指定するなど段階的に取り組んでいる市町、平成26年度から施設一体型で小中一貫教育の推進に取り組んでいる市町など様々でした。



現在、小中一貫教育の実施を検討している市町も数多くあり、設置者となる各市町教育委員会では、小中一貫教育の必要性や重要性を十分に認識した上で、導入に向けた情報収集等を積極的に行っている状況です。こうしたことから、今後は、本県においても小中一貫教育に取り組む市町の増加が予想されます。

これまで小中一貫教育については、設置者である市町教育委員会の自主的な努力による運営であったために、県教育委員会は、市町の動向を見守ってきたところですが、今後、小中一貫教育を全域に導入しようとしたり、より一層効果的な取組にしようとしたりする市町に対し、県教育委員会が、優れた取組事例の普及や適切な指導助言を行うこと通して、県全体における小中一貫教育の推進を図っていくことが必要になります。

具体的には、小中一貫教育を推進するための方針を示したり、体制を構築したりすることに加え、人事や教員免許に関すること、教員の研修に関することへの指導助言など多岐にわたります。このことから県内の市町教育委員会の実情を踏まえ、計画的に支援を行っていく必要があります。

### 3. 事業の内容

小中一貫教育の導入に向けた取組を実施する協力市教育委員会が、小中一貫教育の質の向上や地域の実態に応じた多様な取組を推進できるよう、県教育委員会として検討委員会や推進協議会を設置し、推進支援体制を整え、アドバイザー（有識者）の助言等を得ながら調査研究を進めます。

また、啓発資料等を作成し、協力市における取組を県内全小・中学校に周知します。さらに、県内の実態を踏まえた「栃木県小中一貫教育ガイドライン」を策定し、県内各市町における小・中学校間の円滑な接続や相互の連携を促進するとともに、持続可能な小中一貫教育の実施につなげます。これらの成果を「栃木県小中一貫教育フォーラム」の開催や実施報告のホームページ掲載により、県内外の教育委員会や学校関係者等に広く周知します。



### 4. 具体的な取組内容

#### (1) 平成28年度

- 7月 「小・中学校教育課程等に係る調査」実施（県内の取組状況）
- 9月 第1回推進協議会〔指導助言：青森中央学院大学教授 高橋 興 氏〕
- 10月 金田北中学校区作業部会訪問  
（大田原市立金田北中学校）  
那須烏山市第1回推進協議会  
（那須烏山市教育委員会）  
第11回小中一貫教育全国サミットin武蔵村山  
（東京都武蔵村山市）
- 11月 2020年代の学びを変える先進的ICT・小中一貫教育研究大会視察  
（茨城県つくば市立春日学園）  
黒磯中学校区研修会訪問  
（那須塩原市立黒磯中学校）  
若草中学校区公開授業研究会訪問  
（大田原市立若草中学校）
- 12月 金田北中学校区公開授業研究会訪問  
（大田原市立市野沢小学校）  
厚崎中学校区研修会訪問  
（黒磯市厚崎公民館）
- 1月 教育フォーラムおやま2017参加  
（小山市立文化センター）
- 2月 第13回全国小学校英語活動実践研究大会視察  
（京都府京都市立大藪小学校）
- 3月 「平成28年度栃木県小中一貫教育推進事業リーフレット」発行



第1回推進協議会



リーフレット（H29.3）

## (2) 平成29年度

7月 第1回推進協議会〔指導助言：青森中央学院大学教授 高橋 興 氏〕

「小・中学校教育課程等に係る調査」実施（県内の取組状況）

大田原市小中一貫教育モデル地区公開授業訪問

（大田原市立大田原中学校）

8月 大田原市小中一貫教育研修会訪問

（大田原市教育委員会）

9月 アドバイザー（有識者）による協力市訪問

（青森中央学院大学教授 高橋 興 氏）

11月 烏山中学校区英語乗り入れ授業訪問

（那須烏山市立烏山中学校）

金田北中学校区公開授業研究会訪問

（大田原市立金田北中学校）

12月 広島大学附属三原学校園視察

1月 教育フォーラムおやま2018参加

（小山市立文化センター）

平成29年度「小中一貫教育」シンポジウム参加

（千葉県総合教育センター大ホール）

黒磯中学校区研修会訪問

（那須塩原市立黒磯中学校）

2月 第2回推進協議会〔指導助言：青森中央学院大学教授 高橋 興 氏〕

3月 「栃木県小中一貫教育ガイドライン」発行



栃木県小中一貫教育ガイドライン（H30.3）

## (3) 平成30年度

6月 第1回烏山中学校区小中一貫教育推進委員会訪問

（那須烏山市立烏山中学校）

「小・中学校教育課程等に係る調査」実施（県内の取組状況）

7月 第1回推進協議会〔指導助言：青森中央学院大学教授 高橋 興 氏〕

8月 那須烏山市小中一貫教育推進フォーラム参加

（烏山公民館）

小山市中学校ブロック研修訪問

（小山市立絹義務教育学校）

10月 三島中学校区第2回小中一貫教育推進委員会訪問

（那須塩原市立三島中学校）

11月 平成30年度周南小中一貫教育フォーラム視察

（千葉県君津市立周南小学校・中学校）

12月 金田南学園（金田南中学校区）公開研究発表会

（大田原市立金田南中学校）

第2回推進協議会〔指導助言：青森中央学院大学教授 高橋 興 氏〕

1月 教育フォーラムおやま2019参加

（小山市立文化センター）

「栃木県小中一貫教育フォーラム」開催



周南小中一貫教育フォーラム視察（千葉県君津市）

## 5. これまでの成果と課題、今後の取組

本事業を円滑に進めるとともに、4つの協力市を中心に栃木県内における小中一貫教育の質の向上を図るために、「推進協議会」を年2回開催するなど、推進体制の構築に努めてきました。推進する上で見えてきた、課題について協議を重ねるとともに、有識者からの助言を得ながら、小中一貫教育に関する理解を深めることができました。

また、4つの協力市を訪問し、先進的取組の様子を収集・分析し、調査研究を行いました。取組の成果については、リーフレットにまとめ、県内に広く周知を図りました。

さらに、「栃木県小中一貫教育ガイドライン」を作成したことで、今後、小中一貫教育の導入を進めようとする市町や学校に対して県教育委員会としての方向性を示すことができました。

その結果、本ガイドラインは、多くの学校で活用が図られています。

「栃木県小中一貫教育ガイドライン」(H30. 3) を 教育活動等で活用した学校数及びその割合

|           | 小学校   | 中学校   |
|-----------|-------|-------|
| 活用している    | 42.7% | 45.6% |
| 活用する予定    | 48.8% | 46.8% |
| 活用する予定はない | 8.5%  | 7.6%  |

(平成30年度小・中学校教育課程等に係る調査結果より)

そして今回、「栃木県小中一貫教育フォーラム」を開催し、県内外に3年間の取組の成果を発信することができました。

しかしながら、小中一貫教育は息の長い取組であるため、時間が経過する中で、徐々に取組(活動)そのものが目的化してしまうことも考えられます。「何のために小中一貫教育を行うのか」、「小中一貫教育で何を目指しているのか」という根本に常に立ち返りながら、児童生徒の状況を踏まえて、不断に取組の検証・改善を繰り返すことが必要であると考えております。

また、小中一貫教育は、学校が抱える教育課題を解決するための手段であり、教職員の負担感や多忙感が増大しないように配慮しつつ推進することが求められます。

そのためにも、作成したガイドラインのより一層の活用が図られるよう、継続して周知に努めていきます。

併せて、コミュニティ・スクールを導入する市町も増えてきていることから、小中一貫教育との親和性や地域とともにある学校づくりについての研究・調査を進め、小中一貫教育とコミュニティ・スクールを一体的に推進する地域への支援を図っていく必要があります。

今後も引き続き市町教育委員会と連携し、成果や課題についての情報交換や共有を図ることで、県内全体における小・中学校間の更なる円滑な接続を目指していきます。